（様式１）

温室効果ガスの排出の抑制等に関する目標及び措置

計画期間	平成　29　年度 ～ 平成　31　年度	
温室効果ガスの排出の抑制等に関する事項	年度	措置の内容
	29	天井演出照明をＬＥＤに交換（各階部分的に） 入店採用研修時に環境教育を実施する
	30	入店採用研修時に環境教育を実施する
	31	入店採用研修時に環境教育を実施する

温室効果ガスの排出の抑制等に関する目標		区　分	目標年度（平成　31　年度） 二酸化炭素換算(t)
	温室効果ガスの吸収等	□ 森林の整備等	t-CO_2
		□ 経済的手法の活用	t-CO_2
		グリーン電力証書の購入	t-CO_2
		グリーン熱証書の購入	t-CO_2
		オフセット・クレジットの購入	t-CO_2
		国内クレジットの購入	t-CO_2
		Ｊ－クレジットの購入	t-CO_2
		合　計	① t-CO_2

温室効果ガスの排出の抑制等に関する目標		区　分	基準年度（平成　28　年度）	目標年度（平成　31　年度）	対基準年度比（%）
	温室効果ガスの排出の抑制	温室効果ガス排出量	(二酸化炭素換算(t))② 6,589　t-CO_2	(二酸化炭素換算(t))③ 6,391　t-CO_2	97.0
		☑ 差引排出量　A	(二酸化炭素換算(t))② 6,589　t-CO_2	(二酸化炭素換算(t))③-① 6,391　t-CO_2	97.0
		□ 原単位排出量　A／B			
		温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値　B			

特記事項	従業員一人一人が省エネ・省資源・廃棄物削減の取り組みを進める一方で、エコバッグの拡販等を通じ、地球温暖化防止への取り組みをお客様とコミュニケーションを図りながら進めてまいります。

（注）

１　「基準年度」は計画年度の初年度の前年度とし、「目標年度」は計画期間の最終年度とすること。

２　「温室効果ガスの排出の抑制」欄については、削減目標を立てるに当たって指標とするものを「区分」の欄のいずれか選択し、該当する□にレ印を記入すること。この場合において、「原単位排出量Ｂ／Ｃ」を選択した場合においても「差引排出量　Ａ」の値は記入すること。

３　「温室効果ガスの吸収等」欄については、これらの措置を実施するときは該当する□にレ印を記入し、「取組量等」欄及び「二酸化炭素換算（ｔ）」欄に値を記入すること。

４　「特記事項」欄には、「温室効果ガスの排出の抑制等に関する事項」の実施する年度毎に記入したもののほかに、地球温暖化の防止のために取り組むこと等を記入すること。